平成２６年７月２２日
経　営　委　員　会

次期経営計画の説明を受けて～経営委員の質問・意見

経営委員会は、７月２２日に執行部からの次期経営計画の基本的考え方を受け、今後より良い次期経営計画となるよう、建設的な議論をしていきたいと考えております。

つきましては、執行部からの説明後、経営委員間で意見交換を行ったところ、以下の１１項目について質問や意見がありましたので、次回８月２６日の経営委員会で、回答や見解をお聞かせください。

① 公共メディアについて

“公共メディア”とは何を意味しているのか。“公共放送”とは何が違うのか説明してください。また、ＮＨＫの将来像について、夢があって、魅力的に伝えることが必要だと考えます。特にテレビ離れが叫ばれている若者世代へのアピールに工夫が必要だと思います。

② ８Ｋスーパーハイビジョンについて

２０２０年の東京五輪に本放送開始としている８Ｋスーパーハイビジョンは、各家庭への導入を考えると、ディスプレイの大きさや、購入価格など、課題があると考えます。どのように一般家庭に普及していくのか見通しをお聞かせください。

③ 国際放送の充実・強化について

国際戦略を推進する体制の構築、また推進する人材の育成は、戦略の実行力を高める上で、極めて重要であり、今後、踏み込んだ議論をお願いします。

④ 新放送センター建て替えについて

新放送センター建設計画では、２０１７年まで検討、２０２６年に運用開始としていますが、放送センターの老朽化問題や現時点での建設積立金を考えると、スケジュールを前倒しして進めても良いのではないでしょうか。

⑤ 今後の受信料制度について

放送と通信の融合が進んで行くなか、受信料制度がどうあるべきか、もう少し踏み込んで書き込んでも良いのではないでしょうか。

⑥ 組織改革について

仕事の仕方や、企業文化を根本的に見直すことで、更に効率化が図れると考えますが、要員削減を計画に盛り込む考えはありますか。

⑦ 全体を通して

次期経営計画の説明を受けた全体的な印象として、総花的な感じを受けました。テーマの順序立てや、ポイントを絞った表現の方が良いと感じました。

⑧ パブリックコメントについて

現在示されている策定スケジュールでは、パブリックコメントの期間が短いと思います。また、パブリックコメントを行い、それを活用するのであれば、経営計画を重要度や期間に応じた項目分けをするなど、もう少し整理が必要と感じました。

⑨ 若手プロジェクトについて

次期経営計画の策定に向けて作られた、若手プロジェクトの概要について、お聞かせください。

⑩ 資料のタイトルについて

資料に「公共放送の新たな可能性を開くサービスと創造」とありますが、「サービス」という民間企業のような表現に感じます。より公共性が伝わる表現、例えば「社会的使命」などの言葉の方がふさわしいと考えますがいかがでしょうか。

⑪ 資料の作成について

資料が本編と参考資料に分かれていることで、理解しにくい点があります。参考資料は本編の中に入れ込むなど、資料の作成にもう一段の工夫をお願いします。

以上